

# 第10回岡谷市公共施設のあり方検討市民会議

(平成19年12月19日19:10～20:15 市役所603会議室)

- 1 開 会
- 2 市民憲章唱和
- 3 市長あいさつ
- 4 報告

## ・報告書提出

\* 浜委員長、原田副委員長より報告書を手渡す

## ・報告書の概要説明

\* 浜委員長より、報告の内容について説明

## ・全委員の意見・感想

\* 各委員より

A委員： この会に参加させていただき、こんなに公共施設があるということや、貴重な財源を公共施設にかなり使っていることは、自分が思っている以上に負担が大きいと感じました。普段は自分たちも、体育館など色々な施設を何気なく使っていますが、今の財政状況を考え、受益者負担というのをもう少し見直していかなければ今後に不安を感じます。委員長の説明にもありましたが、思い切って休止・廃止というような意見もこの検討の中で出てきていますが、自分たちが関わっている施設というのは、廃止のような方向でいくと反対も出てくるわけですが、今の市の状況をご理解頂いて、思い切った対策をしていかなければならないと感じております。そして、受益者負担を増やしていく時は、市民への説明責任というのが、大事になってくると思います。市報などを通じ、こういう訳で公共施設を変えていかななくてはならないということもアピールしていくことも大事かと思えます。

K委員： 半年間ということで時間があまりありませんでしたが、現時点では精一杯でした。またこれだけの立派な報告書ができたということで、素晴らしい委員の皆さんや、市側の事務方の職員皆様のおかげだと、改めて感謝しております。私自身も委員会に入れていただきましたが、公共施設に限らず、意外にお金のことを知らなかったというのが正直な感想ですし、反省もしております。そういう意味では、この委員会に参加する時間というのが非常に勉強になりました。改めて公共施設というのを辞書で引いてみましたが、そこには福祉という言葉が必ずセットにされていて、また福祉という言葉で引いてみますと、幸せという項目が載っています。いうならば、市民が公共施設をどんどん利用することによって、幸福感を得ることが非常に大切なポイントになってくるとことを改めて感じ

ているところです。ただ、施設を利用しながら、どんどん利益を生んでいくというのは、性格上なかなかそういう流れになりにくいと思っています。よく選択と集中という言葉が、一時広く使われていまして、去年はセイコーエプソンの花岡社長さんが、この選択と集中ということをよく使われていました。選択と集中ということ補完する意味で、発想と決断というものが、これからはどんどん必要になってくるという気がしています。というのは、施設にはそれぞれ条例がついている訳ですが、上手に利用してもらうためには、条例を色々変えていかなければならないものもあるのではないかと感じております。たまたま今朝の日報・市民新聞もそうでしたが、子育て支援マップというものが一面の記事に載っていました。この報告書というのは、今日現在では最高のものだと思いますが、例えば施設一括予約システムというものを稼働させていくためには、施設のことも理解することが必要です。しかし、この沢山の施設をこの10人の中で、実は私一人があまり理解をできていませんでした。例えば施設のこともあまり理解できていなかったのが私一人ということは、10人のうちの1人で1割、つまりサンプルは小さいにしても、4万7千~8千の市民のうちの1割、つまり4~5千人の方が施設のことも知らないということで、かなり多いのではないかと思います。そうすると、子育て支援マップのような、施設マップというものも、この一括予約システムとリンクさせながらやっていくことも、必要になってくるのではないかという気がします。やはり改革というのは、日々動いているものだと思いますし、この報告書からまた3か月とか、数か月たった時には、また新たな展開を生むことも予想されるということで、やはり日々色々なものがあることを意識しながら、市民力という市民の力を借りて、精一杯の方向に持っていければと感想を持ちました。

T委員： 素晴らしい方々と、公共施設について検討できたことを嬉しく思います。本当に勉強になりました。公共施設はすべて必要があって造られたものなので、それを集約するなど、かなり踏み込んだ検討もされましたが、是非生かしていただきたいというのが実感です。いずれにしても、時代の流れは色々な施設が民営化されている中で、やはり民間の新しい発想のなりで、収益性なども取り入れながら公共施設が活性化していくことが非常に大事だと考えております。

M委員： 皆さん本当にありがとうございました。資料だけでここまで揃えていただき、本当に感謝しています。他の委員さんのお話にもありましたが、自分が接して初めて知ることが沢山あって、それを知って初めて、普段歩いている中で岡谷市はどうなっていくのか、見えない方向や考え方が決まって、自分がこの委員会に参加させていただくことで、新たなスタート地点に立って、岡谷市を見直していく立場になれたように思います。実際この間に何ができたのかというと、それはまだわかりませんが、自分が参加することによって他の人にも意見を求めたりとか、他の人から利用している話を聞いたりして、意外と色々考えている人がいるということを感じながらやってきました。たまたま今年は地区の仕事をやらせていただいておりますが、それぞれの地域にも素晴らしい発想やアイデア、力

を持っている人が沢山います。そういう人たちにも、これからもっと岡谷市を盛り上げていくために力を発揮してもらえたらいいと思います。これだけの資料ができたのも本当のスタート地点だと思いますし、最後の提言の中にもありますが、市民総参加ということで、市民一人ひとりが、この街の為に、まず全体がどういったものか、どういう街にしたいのかを一つでも考えてもらえるような環境になれば、またそこから力が湧いてくるような気がします。例えば、この委員会では廃止という形もありましたが、実際に使っていて「廃止なんて冗談じゃない！」と言う人も出てくるはずですよ。逆にそういった方々のその力を、施設を盛り上げていくための力に変えていただけるような、この委員会が一つのきっかけになるように願っていますし、私はせっかくこのように参加させていただいたので、もっともっと色々な人に、自分と同じ世代の人に広げていきたいなと思いました。

M委員： 半年間色々学ばせていただいて、本当にありがたかったと思います。この市民会議に入って、どこかの施設を止めると言わなければいけないとか、統合や中止といったそんな話し合いには出たくないという正直少し暗い気持ちでいました。でも色々な話をしているうちに、岡谷って素晴らしいと段々自分で思うようになりました。また公共施設はもっと変われるという思いに変わってきています。ネットワークを広げるなど色々な工夫をすることで、公共施設は岡谷を引っ張っていくような力のある存在になり得るものだと確信めいたものが生まれてきて、もっと魅力ある街をこの公共施設の中から変えていくことができるのではないかと、今は希望でいっぱい最終回を迎えられています。私も色々な施設が気になるようになり、この施設でこんなことをしたら、もっとよくなる、ということを頭の中で沢山感じています。これから色々な思いを持った方たちが、色々な意見を寄せて、大きく生まれ変わっていくことを期待し、また自分もその中で頑張らせていただけたらいいと思いました。ありがとうございました。

M委員： 本当に長い間ありがとうございました。スタートした時の「ものさし」という言葉は...、という状態で、一つひとつの重みがまったく違うこれだけの公共施設を、何を基準に同じ線に並べて、どのように検討したらいいのか自分の中でも把握できないまま、これだけの資料がどんどんできていました。一番変わったのは、今まで公共施設というのは、使わせていただいている側で、不平不満ばかりを感じていたところが、自分が経営者や管理者だった場合はどうだったのかと立場を変えて考えるとこうだったのかと違う視点から考えられるようになるなど自分の中に変化がありました。市民総参加というところで広報などに、例えば難しい数字がくると、面倒くさくて多分ほとんどの方が避けていると思います。なので、例えば広報に載せる時にも、「この施設はこんな状態で厳しいですが、どうしたらいいですか？」というように載せると、「こう思います。」ということをして市民は意見が言いやすくなると思います。上の方から簡単なアクセスをしていただくと、もっと単純な回答が得られるのではないかと思います。数字だけを追っていくと、やはりそれだけでは出てこないという思いがあります。色々な意味で勉強させていただきました。是非現状の厳しいところだけでなく、最終的には何年後かに、

周りと比べて岡谷市は変わったと言われるような岡谷市らしさというものを、もう一度行政の方でいくつか筋を決めていただいて、そこを大事にして、市民にもそれを分かってもらい、強さとしなやかさを持った市を作っていただきたいと思います。そのためにできる限り自分も市民として協力できるところはしていきたいと思います。

Y委員： 私はご依頼があった時から、会議の方法や各施設を回ってから検討するとか、模造紙を用意すると色々注文を付けさせていただきましたが、全部答えていただきましてありがとうございました。こういった題材というのは、市民一人ひとりにとって大変身近な題材なものですから、とっつきやすく、意見を言いやすいと思います。実際に体験した市民が市政に対して、街のためにどんなことをしていったらいいかなど、題材として、今後施設のあり方については、できたらもっと大勢集まれるような現場で、子どもと一緒に考えるような機会を作っていただければと思います。先ほど利益を出すのが難しいというお話もありましたが、やはり施設というのは建てたからには、どのくらい使っていただくかということが、市民に対する利益だと思しますので、使ってくださいという姿勢をもう少し窓口でしていただければと思います。もう一つは、検討していく段階で、境を隔てた他の下諏訪や辰野にあるというものにはなかなか手がでないというようなところがありまして、例えば岡谷市としてなければならぬものと、岡谷市としてないと恥ずかしいものがあるような気がします。それは例えば広域で集められるものは集めて、もう少し面積の広い市はそれ一つでやっているのに岡谷の場合にはいくつもあるというものについては、できれば少なくしていただくように、小さな合併を段々積み重ねていただきたいと思います。またはそういう相談をする機会を他市とのレベルでも持てればいいと感じました。先ほどから皆さんが満足とおっしゃっている理由が分かるのですが、それはこうした市民会に10年近く出させていただいています、市長さんがこれだけ長時間一緒にいただいたことがありません。直接聞いていただいたということが我々としてはありがたいと思います。

Y委員： 実は、私は当時高校を卒業して42年程出稼ぎに行っておりまして、8年程前にこちらへ帰ってきた訳ですが、帰ってきて一番感じたのは岡谷市には立派な公共施設が沢山あるということを感じました。この会に参加させていただいて、学校や清掃工場を含んでいるとはいえ、岡谷市の規模からすると、相当多額の税金が公共施設に使われているのではないかという意見を感じました。委員会でも色々検討しましたが、長期の運営計画というものが、少し欠けているのではないかというふうに感じました。実は民間企業で開発担当をしておりましたので、20何年の経験の中から我々企業が施設を造る場合は、必ず20年間の計画を携えなくてはなりません。この世の中では、5年先というのも実際読めない訳ですが、では読めませんというとその計画はなくなってしまいます。そういう厳しい企業の中で育ってきました。計画を作った後、毎年毎年それを検証させられて、計画との整合性が無くなったものは、その都度手を打ち、3年経って好転しないもの

については、廃止または業種転換というような作業をずっと続けてきました。そういう意味からすると、岡谷市の公共施設についても、長期の運営計画というものが必要ではないかと思います。特に規模の大きいものについては、途中で大きな改装だとか、修繕というものが当然付きまといまいます。これが相当多額な金額になってきます。単年度とか、3年計画ではそれがちょうど発生しない部分もございいますので、私はせめて10年間くらいの長期運営計画というものを是非作っていただいて、検証していただきたいと思います。特にその結果というものは、市民にもこれだけかかっているということを公開し、認識していただき、その中で初めて料金の見直しといったことが市民に受け入れられていくのではないかと感じております。最後になりましたが、そんな関係で私は委員会の中で、どうも採算性を重視した発言が多すぎたのではないかという反省をしております。

H委員： 当初この困難なテーマについて取り組むより、市民の意見を反映するとはどうということだろう、わずか10人のメンバーで何ができるのかと悩んだ面もありましたが、難しい中にも楽しく出席させていただきました。今皆さんの発言を聞いていただいてお分かりのように、10人の構成メンバーが、それぞれ素晴らしい発言をされています。とっさに出てくる心からの発言と感じ取られていると思いますが、そういう方たちが、それぞれ自分の意見や熱い思いを持ち寄って、建設的な討議ができたということが、今回はよかったと思います。私自身はあまりお役に立てませんでした。この会が行政との協働という意味で、モデルケースとも言える方向を示すことができたのではと評価したいと思います。私はこの会が投げたボールを、職員の皆さんがこれからいかに受け止めて、投げ返していただけるか楽しみにしております。市長様におかれましては、各職場において検討するなり、創意工夫としなやかな感性が発揮しやすいような環境作り、楽しい職場作りを十分ご配慮いただけますように、この場を借りてお願いしたいと思います。

H委員： 私も不慣れではございましたが、皆様のお力を借りまして半年間やることができました。私も公共施設について知っているようで全然知らなかったということで、皆様のそれぞれのご意見をお聞きする中で、日々勉強をさせていただいたり、なるほどと感心させていただいたりした会議でした。色々詰めていく中で、岡谷ってなんだろう、岡谷ってどういうところだろうと改めて考える機会となりました。皆様のご意見もそんなことだったように思っております。またこれだけの大きい市の施設があると、また縦割りではなく、色々な繋がり方をすると本当に新しい価値観に踏み出せるようなそんな予感も感じたりしています。いずれにいたしましても、皆様のご協力をいただきまして報告書をまとめることができました。本当に感謝しております。ありがとうございました。

中田総務部長： なかなか出席ができず申し分けありませんでした。ついこの間、中学生のこども議会がありましたが、その時に率直な意見が出されました。その中で私が一番気になったのは、中学生にアンケートをとった時に70%がこの街は住みよいと思っていながら、住み続けたいという生徒は7%しかいないということでした。

た。中学生にはちょうど色々な思いや、新しいものへの希望など色々な気持ちがあるかと思いますが、答えとしてそういう答えが返ってくると、やはりどこか、ここまで作ってきたものが、何か、どこかに足りない、またそういった思いを込めていない部分というのがあるのかということを考えさせられました。今日このように話を聞かせていただきましたが、いかに大胆に、思い切って変えていかななくてはならない時があると、そんな思いをしているところでもあります。せめて半分以上の子どもたちに、この街に住みたいと思ってもらえるような街にしていきたいと思っています。そんなことのきっかけとして、このことを感じ取り、こちらにボールが飛んできましたので、きちんとした形で投げ返したいと思っています。よろしくお願いいたします。

市長： 皆さん本当にありがとうございました。今皆さんの話をお聞きしまして、公共施設のあり方を検討したということですが、皆さんは街づくり全体のことを、この会の中で考えていただいたと思っております。総務部長からも話がありましたが、私どもはこういった行政に携わっているわけで、なんとか数%ではなく、50%ぐらいの子どもさんたちにこの街に住むと言っていただけるような市を、これから実現していかなければいけない、そんな役割を果たしていくのが、私たちの仕事と思っております。そうしたときに、こういった会で率直な意見を今後も交わしていければと思っております。またご指摘がございましたが、情報の公開の仕方というのもよく考えて、分かりやすい情報公開にしたいと、また意見をいただけるような情報の公開にしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

## 5 意見交換

委員長： なかなか難しいテーマで、報告書が予定より1ヶ月ほど遅くなってしまいましたので、ごめんなさい。

市長： 簡単に止める、止めないとは言えないですし、この思い切った結論や、提案をしていくというのは心に痛いですね。でも、していかななくてはならないタイミングというのがあると思います。今そのタイミングがきているものもあるように思っていますので、またご理解ご協力をお願いいたします。

委員長： いずれにいたしましても、私どもはサブタイトルの公共施設を育てるという前提でこの会を行いました。その中で統合、廃止ということの一つの提案として出させていただいたことを、重ねて言いたいと思います。

それでは時間もまいりましたので、最後に市長さんからごあいさつをいただきたいと思っております。

市長： 今日皆様の報告を聞かせていただきました。ものさしづくりというところから始めたということですが、本当に皆さんは温かいと思われましたのは、ただ基準のものさしだけでなく、なんとか生かそうということで付加価値の部分を加えていただいて、ここにはこんないいものがあるなど、温かい検討をしていただいたということに心から感謝申し上げたいと思っております。ただ先ほど申し上げましたように、財政状況など岡谷市の将来を考えていった時に、色々な意味で、こ

れから私どもは市としての結論を出していかなくてはなりません。そのためにはやはりご指摘がございましたように、一度案を出しまして、市民の皆さんと議論を重ねることによって、方向性を決定してまいりたいと思っているところでございます。またもう一つ、決定をしたことには、今度は逆に十分な情報公開をさせていただいて、丁寧な説明を果たしていきたいと思っております。それによって、市民の皆さんにも決定によって少し不便をかけたたり、使えなくなったりする施設があるかもしれませんが、こういったことにご理解をいただく努力を重ねて参りたいと思っております。そして最後は私の宣伝になりますが、私の選挙の公約でございます。私も頑張って「人輝き、たくましいまち岡谷」を目指しまして努力を重ねて参るつもりでございますので、委員の皆様にも、今後ともご支援ご協力を賜りますよう重ねてお願いを申し上げます、お礼と最後のあいさつとさせていただきます。本当にありがとうございました。

## 6 閉 会 （ 8 : 1 5 閉会 ）